

事業番号	10 01 04	事業改善シート（令和2年度実施事業分）			当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業成長産業化推進事業	部局	林務部	課・室	森林政策課			
		実施期間	H30～	E-mail	rinsei@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）								
8つの重点目標	付加価値を高め、経済成長を実現							
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進			2-2 地域内経済循環の促進				
	3-7 先端技術の積極的な活用・導入			4-1 県土の強靱化				

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿（予算編成時）	【現 状】
	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の造成された森林資源は着実に増加し、育てる時代から本格的な利用の時代が到来している。 ・一方で、長期にわたる木材価格の低迷等により森林所有者の森林への関心が低下しており、このままでは、間伐等の適切な森林整備や、計画的な主伐・再造林が行われず、放置された森林の増加が懸念される。
【目指す姿】	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の持つ多面的な機能を適切に発揮させ、森林を健全な姿で次代に引き継ぐためには、森林所有者等が森林を適切に管理していくことが必要。 ・所有者の関心の低下により、適切な管理がなされない森林が増加している中で、令和元年度（平成31年度）から市町村等の積極的な関与により森林の適正な管理を実現する「森林経営管理制度」が本格的に運用されている。 ・この制度の円滑な導入に向けて、市町村による広域連携体制の構築に向けた取組を支援するとともに、伊那地域で市町村、森林組合、NPO、信州大学等の関与のもと、先行的にシステムを運用し、課題抽出、スキームの確立などを行い、全県に波及させる。 ・また、フィンランドやオーストリアといった森林・林業関連の先進国と、覚書の締結を契機とした技術交流、連携の取組を進めることで、先進的技術の本県への導入を進め、本県の林業、木材産業等の生産性向上等を図る。
	【実施内容】
森林経営管理制度の円滑な導入に向けた市町村支援、モデル地域による森林調査	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況	事業コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度
		前年度繰越	0	22,330													
		現計予算	76,419	50,901													
		合計(A)	76,419	73,231													
		うち一般財源	4,526	254													
		決算額(B)	44,342	69,743													
		職員数(人)	4	3													
1	森林経営管理制度に取り組む市町村（事前の準備作業を含む）	-	77	↑	77	→	77	達成									
2	素材生産量(千m ³)	540	564	↑	570	↑	750	未達成									
3																	
4																	

成果指標設定理由	<p>①「森林経営管理制度」の導入に伴い、制度に取り組む市町村数を設定。</p> <p>②生産性向上に向けた取組の成果を評価するため、県内の素材生産量（木質バイオマス用を含む）を目標として設定。</p>
達成状況の分析	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での研修会は困難であったが、WEB等を活用して全ての市町村が新たな制度である森林経営管理制度の実施方針等の策定に取り組むことができた。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の影響により、製材用及び合板用は減少したが、チップ用及び燃料用が増加した結果、素材（木材）生産量は微増した。</p>
主な取組	<p>○森林経営管理制度の円滑な導入に向けた市町村研修会やマニュアルを作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林務部内の森林経営管理支援センター（5名）及び地域振興局（各1名）に専任の担当者を配置した。 ・各地域振興局単位に設けた市町村関係者の連絡会議や研修会を開催、市町村業務マニュアルⅡ～Ⅳを作成し円滑な制度運営を支援した。 ・市町村の広域的な連携に向け、初期経費や研修経費を支援した。 <p>○海外先進国（オーストリア・フィンランド）との技術交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携の活動を元に、『地域林業のすすめ-林業先進国オーストリアに学ぶ地域資源活用のしくみ-』を出版



2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<p>森林経営管理制度は、平成31年4月からスタートした市町村が主体となる制度であり、特に林業関係の技術職員が少ない（いない）市町村では実施が難しいことから、引き続き支援を行う必要がある。</p> <p>海外先進国と締結した覚書に基づき、県内関係者とも連携しながら、技術導入等に向けた更なる連携を進める必要がある。</p>	<p>森林GISの活用支援やオンライン研修会の開催など市町村負担の軽減や新しい研修方法等の取組を加速させる。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の状況を見据えながら、海外の先進技術等についてオンライン等を活用して普及を図る。</p>

事業番号 10 01 04 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	林業成長産業化推進事業	部局	林務部	課・室	森林政策課
-----	-------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
1	森林経営管理体制支援事業		30,893 千円	63,272 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	研修会の開催	直接	森林経営管理体制の円滑な導入に向け、WEBを利用した市町村担当者向け研修会・森林GISの活用促進に向けた操作研修会等を30回開催し、延べ892人が参加	
2	市町村森林管理技術マニュアルの作成	委託	「市町村管理森林の施業指針」「市町村が管理する森林の管理規程」のマニュアルを作成し、市町村に配布	
3	森林経営管理体制広域連携体制支援	補助金	複数の市町村が連携して森林経営管理体制に取り組む体制整備や研修会を支援（木曾広域連合、諏訪地域森林経営管理体制推進協議会）	

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
2	林業成長産業化地域創出モデル事業		7,390 千円	6,217 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	林業成長産業化地域創出モデル事業	補助金	モデル地域である伊那地域において、地域検討会議（3回）やドローンを活用した資源量調査（1団地）等を実施 補助先：伊那市	

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
3	国際林業技術交流ネクストステージプロジェクト事業		4,526 千円	254 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	国際林業技術交流ネクストステージプロジェクト事業	負担金	長野県海外林業技術等導入促進協議会を開催（1回） 令和元年度の成果報告会を開催（1回）	